

★神戸の催し物ご案内

6月

△音楽▽

★第5回ジャズインコウベ

3日(土) ①2時 ②6時 神戸国際会館 S・一五〇〇円 A・二〇〇〇円

★全日本チキシーランドジャズフェスティバル
3日(土) 4時 オリエンタルホテル 二五〇〇円

★雷村いづみ 沢電二
5日(日) 6時半 神戸国際会館 民音/二四〇〇円

★カラベリ・グラントオーケストラ
7日(水) 6時半 神戸国際会館 民音/三四〇〇円



カラベリ

11日(日) 10時半 神戸文化ホール 三〇〇〇円
★憂歌団
14日(水) 5時 神戸文化ホール 二〇〇〇円

★第12回神戸三大学交歓合唱演奏会
17日(土) 6時半 神戸文化ホール
★関西学院大学交響楽団
18日(日) 6時半 神戸文化ホール 四〇〇〇円

★渡辺貞夫
21日(水) 6時半 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円



渡辺貞夫

★松山千春
21日(水) 6時半 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円

★上平田裕子と親しき仲間たち
23日(金) 6時半 神戸文化ホール 二五〇〇円

★甲斐バンド
23日(金) 6時 神戸国際会館 S・二〇〇〇円 A・一八〇〇円

★千昌夫とジョン・シェフアード
24日(土) ①2時 ②6時 神戸文化ホール A・二五〇〇円 B・一五〇〇円

★ウエスタンジャンボリー
24日(土) 5時 神戸文化ホール 指定席・二〇〇〇円 自由席 B・一五〇〇円

★袴崎宏実
24日(土) ①3時 ②6時半 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二〇〇〇円

・二〇〇〇円 B・一八〇〇円
★松崎しげる
25日(日) 2時 神戸国際会館 A・二八〇〇円 B・二四〇〇円 C・二〇〇〇円

★ギョーム・ド・マジョー
アンサンブル
26日(月) 7時 神戸国際会館 民音/二〇〇〇円

★関晴子ピアノリサイタル
28日(水) 7時 神戸文化ホール 一七〇〇円



関晴子

★文学座「道化と愛は平行線」
15日(水) 16日(金) 20日(火) 6時15分

★関晴子ピアノリサイタル
17日(土) ①1時半 ②6時15分
18日(日) 1時半 神戸文化ホール 神戸労演/一八〇〇円

出演・高原駿雄・高橋悦史・吉野佳子・二宮さよ子ほか
★市民映画劇場
(サンタダン八番娼館・望郷)
21日(水) ②23日(金) 6時半
24日(土) 2時 神戸文化ホール 四九九円

★映画会「トム・ソーヤの冒険」
25日(日) 9時40分から五回上映
神戸文化ホール 大人・六〇〇円 小人・四〇〇円

★木暮実千代特別公演
27日(火) ①11時 ②4時 神戸文化ホール

★加藤きよ子リサイタル
27日(火) 6時 神戸文化ホール 三〇〇〇円

★第8回元町遊人会
30日(金) 4時半 泉民小劇場 無料

●愛読者招待席

左記のステージにそれぞれ10名様ご招待致します

★千昌夫とジョン・シェフアード
6月24日(土) 6時 神戸文化ホール

★森達一
7月15日(土) 6時 神戸文化ホール

ご希望の方は、住所・氏名・年令・TELE明記の上、神戸っ子編集室「千昌夫」係、「森達一」係まで。ハガキで。

●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のステージを割引優待致します

★関晴子ピアノリサイタル
6月28日(水) 7時 神戸文化ホール
一七〇〇円を一五〇〇円に

★ユストゥス・フランツ
7月13日(水) 7時 神戸文化ホール
A・二八〇〇円 B・二三〇〇円 C・一八〇〇円をそれぞれ一割引

★納涼お笑い劇場
「漫才と河内音頭」
「男の純情」(二場)
7月28日/8月2日 ①11時 ②3時30分 神戸国際会館 二三〇〇円を一割引

★マクサンス・ラリー
鈴木一郎 デュオ・コンサート
9月26日(火) 7時 神戸文化ホール
A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円をそれぞれ一割引

ご希望の方は電話か葉書で神戸っ子編集室・優待係(八川崎)まで

AIR SPOT



田中 正美

ヤングの間でBCLがブームのころ、日本短波放送に新番組「合格いっぽん道」(毎週金、土曜深夜1時15分〜3時)が誕生した。パーソナリティーには田中正美(金)、志賀正浩(土)が登場し、硬軟とりまぜた内容でユニークな深夜放送として静かなブーム。



上 初めは張り切ってスタートしたけど
中 スキューダイビングを思い出すねえ
下 助けてー もろ おろしてよ

● 小山乃里子コノの 華麗なる挑戦

△14▽ 消防局専任救助隊入門

緊急時にそなえて

いくら最近少々ふとり目とはいえ、この制服はいささか大きすぎる。ベルトなんざ、胴を二回りもしそう。着替えに使わせてもらった工作車の中から、ズボンを手で押え、よたよたとはいだしていったら、高橋消防司令をはじめ隊員の方々が、ベルトを切ってくれたり、靴の中にズボンをつっ込んでくれたり。高橋さん曰く、「まるで子供の着替えてつどうてるみたいや」とまあ、救助隊員の第一歩はあまりさつそうとしたものではなかったが、そのあとの涙ぐましく努力振り。

まあ本日は、よけいなことはしゃべらずに、とにかく、

やらされ……もとえ、やらせていただいたことなんぞ、順を追ってはなしましよ。

最初は、もう並んで待っててくれた隊員さんの前で、なんと、ご挨拶。独身の若い男性が多い、と聞いていたから、いささかがり気味。何しやべったやらかいもくおぼえていない。

次。二列に並んでの柔軟体操。飛んだり、膝を曲げたりはいいけれど、二人一組で手をつないでえいえいやるんだもん、はずかしいわ。(バカノ何をもだえてるノ) なあんで気分は、次なる号令でふっ飛んだ。



いやー、こわいよー、なんていっておられないんだ。
とにかくぶら下ってしまってるんだからね。

「そのまま、左むけえー。ランニング開始！」

なんともリズムカルなかけ声が入る。一、二、三、四五、この数字が早くなったりおそくなったり。呼吸はすぐのみこめたけれど、最近、駅の階段を駆け上ってさえしばらく胸の動悸がしずまらない程なのに、このランニングはこたえましたぞ。どうしても一人だけ遅くなりがちで、その都度「男なんかには負けるな、ノコ!!」心の中でつぶやきながら走った。

ポートアイランドの埋め立て地のはずれ。すぐそこに海の見える場所に訓練地が作られていて、時々潮の香がただよってくる。くたくたになっって、ゴールというか出発点まで戻って来た。

「ハハハ、疲れましたか。この一周が大体六百メートルで、普通の日はこれを十周から二十周するんですが、今日は一周にしときました」

十周もしていたら、確実に、私はその場にひっくり返

って救急車を呼んでいただろう。

目の前に、鉄パイプで塔が三つ建てられている。両端がおなじようなもので、真中だけちよっと小さい。さっきから、少しはなれたところにヘリコプターが止っていて、何をするんだろうと思っていたら

「高層ビルの火災などの場合、屋上に逃げた人達の救助の一つとして、ヘリでその人をつり上げるといのがあるんです。今日はそれからやってみますか……」

ヘリコプターに乗るなんて何年振りだろう。私が乗っていて、ロープを降ろす役なのかなあ。空中で戸を開けたらさむいことないかなあ。

「さあ、このてっぺんに登れますか。この上で、ヘリコプターに救助される役です」

「ええっ、私が……あのー、私はつり上げられる方ですか……」

「こわいことありませんよ、みんなベテランばかりだ



女の証明1 腕力は弱かった



女の証明2 箸より重い物は持てない



女の証明3 お尻がおもーい

し……さあ、お尻押しましょか」

その昔ジャングルジムの女王だったんだ。こんな塔に登るくらいはわけはない。二十メートルのジムの上にはちゃんと足場がこしらえてある。やがて、ヘリコプターが羽根をゆるがした。見るだに細いロープ。あんなん、途中で切れたりせえへんねんやろか。なんぼ丈夫やいっても、寿命というものがある。私の番の時にその寿命が来たらあー私は地面にたたきつけられ……。他の何をした時よりも、これはこわかった。ヘリコプターが私の上空にびたりと止り、するするとロープはおろされた。救命具をしっかり身体にかかえ込み、念のためロープまで腰にゆわえられ、OKの合図とともにゆっくりゆっくり私の身体は空へ登った。

「うわあ、今日は特別に海がきれいやなあ」さっきの恐怖はどこへやら。もうちよつとぶら下がっていたいときえ思った程。

さて次にやったことは、三メートルの高べいを乗り越えるのだ。三人一組で、壁の前にはやがんだ人の手に足をのつけて、えいやあと一人が上にのる。次の人もその要領、そして最後の人は飛びついて上の人から引っぱられてのぼるのだ。例えば、その障害の向うに救助する人がいた場合、そしてその障害にとっかかりになるようなものが何もない場合、つまり人間はしごみたいなものかなあ。三メートル位、一人で飛びのっちゃう人も中には何人かいるらしいけど、大抵はこの方式でやるんだそう。これをやれという。男の人の手にこの足をのつけて飛びはねるなど、母が聞いたらなんといいって嘆くだろう。けど、やらなくちゃあ。一回目、遠慮しすぎて失敗。思い切り手のひらに足をけりつけるようにして、ハイツ。やったやった。これも無事やれた。

最近の火事は、焼死よりも新建材による窒息死、中毒死が多いという。煙にまかれ逃げまどう人達をいちはやく救い出さねばならない。そのために酸素ボンベを背おいて、低い所を素早くその場所にたどり着く訓練も必要で



サーカスではないんです。救助にむかう果敢な姿。地上15メートル、私の影が小さくみえます。

さつきからストップウオッチとにらめっこでなにやらごそごそやっている一組がいる。なんと、10秒でボンベの酸素をたしかめ、その15kgのものをおい、防毒マスクをかぶって、コの字型のねずみとりの長細いようなものの中をはいはいするんだって。これもやってみただけボンベをせおって立ち上った途端、後に見事にこけた。だから、箸より重たいもの持ったことないっていつてるのに。つかえつかえなんとかこれもやり終えた。

発射銃にロープがついていて、高所に打ち込み、そのロープを伝って上る訓練だけはびりつとも手が動かさずだめだった。

最後に何か一つ、決ったポーズが欲しいねえ、なんてことで、二つの塔の間に張られたロープが目についた。

みんな気軽にすると渡っていく。あれがいい。あの端っこの方でちょっと身体を横にして写真を取っておしまいにしよう。気軽な気持で登っていった。ロープを太ももから腰にしっかりゆわえつけ、カラビナをつけ、いざロープにぶら下って見たら、なんだかむこうまで行けそうな気がしてつるつると手がすべった。半分まではカラビナがつるべの役目をしてくれて楽に行けたけど、そのあとのしんどいこと。反対の方で待っていてくれた人達。

「そらしっかりしろ、もう少し、女やる最後までやれ」みんな口々に好きなこと怒鳴ってる。むこう側に着いた時は腕の力がガタガタ。でも、これはほめてもらったのだ。疲れもふっ飛ぶくらい嬉しかった。

昭和四十三年に神戸市専任救助隊としてスタートして十年。現在隊員数三十二名、平均年齢二十六才。年間約七五〇回出動して、今まで救助した人の数は今年の35名を入れても八百名以上。毎日毎日のこの地味で、確実につらい訓練がいざという時にいかに素晴らしい成果を上げていることか。火災だけでなく交通事故、労働災害、水難事故、山岳事故、そして小さい事故では、お風呂のドアをロックして外に出られなくなった、なんてことで彼等は出動する。本当は、この訓練が無駄に終る日がない。一日でも多ければ世の中和ということなのだけど、そんなのんびりした世の中ではない。ただただ感嘆し、頭の下る想いで引き上げて来た一日だった。本当にご苦労さまです。



えっ、私、あんな高いとこに登っていくの？

指導／高橋日出男、福井啓剛／神戸市消防局警防部救急救助課
協力／神戸市消防局
写真／橋本英男



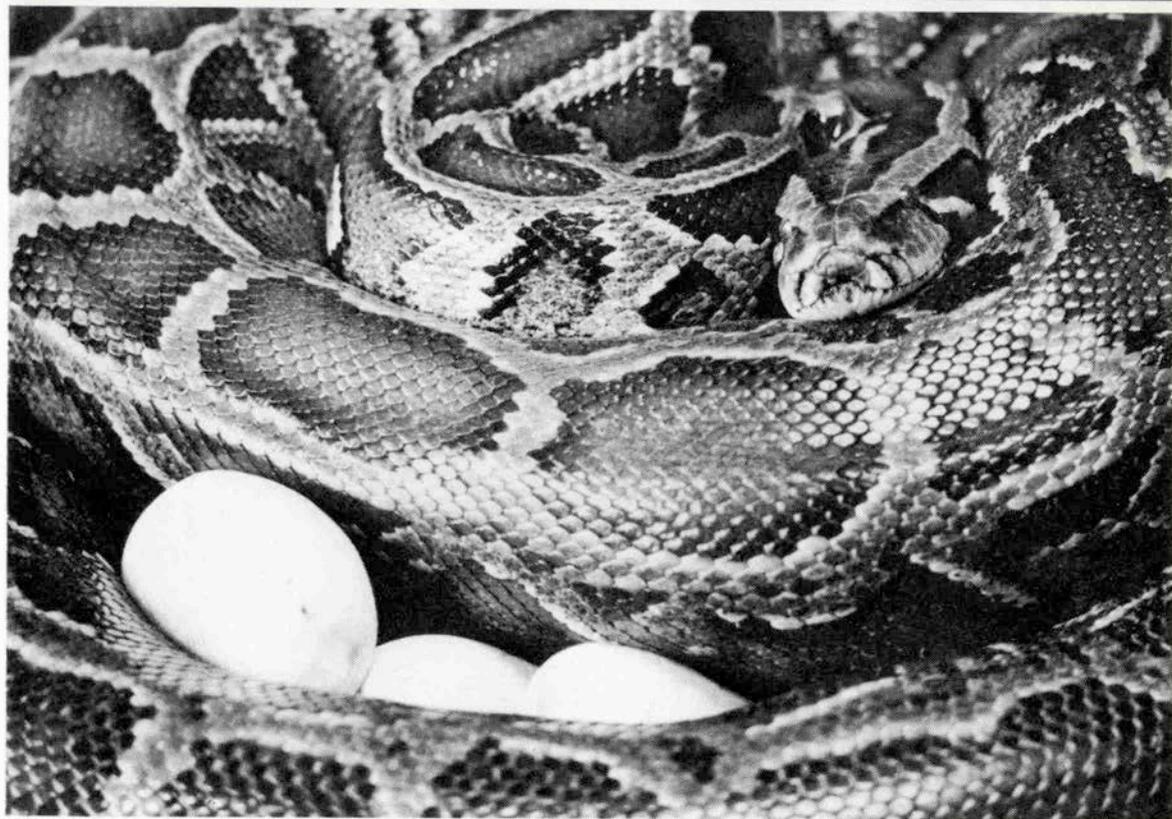
動物園飼育日記

— 142 —

亀井一成

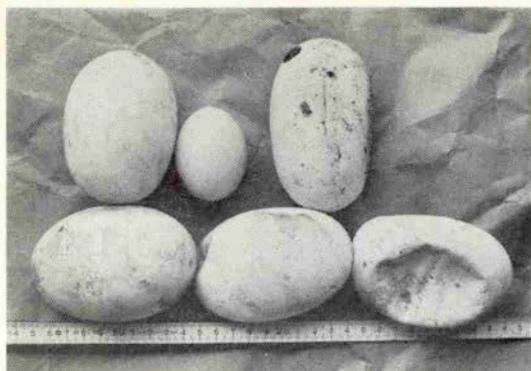


卵を抱いたニシキヘビ!



長い物だけは、どういわれようが、あきまへん、苦手なんです、という飼育員。体重四トンのゾウ、二トンのカバ、二トンのサイ、という大物たちの飼育員には、やっぱり太めで背もあるという「大男」の方が相手には、ったりも効き、押えがきく。

それじゃ、チンパンジーやオランウータンなど人間に近い類人猿という知恵者たちにはどうだろう。なるほど彼等は外見よりも「お人柄」を見抜き、たいへん相性を大切にするので、どなたでもいい、という訳にはいかないですぞ、いや、ヒト見知りの凄さは、今、与えればかりの夕食を足で踏んづけ、エイノと下手投げ、そこから辺りにまきちらしてしまふ。何しろはったりで見せかけの愛情なんかいやノコツコツと何度裏われようが、にこやかな表現でしゃべってやる。意味を解せなくともいいのである。とにかくこのお方は、「ほくちちを解って下さるお方だ」と根氣と愛情で勝負ができるいい男でないため、



ジャガイモみたいな(?)ニシキヘビの卵、ニワトリの卵と比べると一

るのが面白いではありませぬか。あまり表情もなく、もの静かでコツコツと細やかな世話ができるお方。といえはもの聞えがいいが、羽があるんだから飛んじやったノと悠々いや少々どんくさいくらいのお方がい

い。スローでもの静かな細やかな世話が鳥たちを落着かせ繁殖につながるのである。

ところで、爬虫類も然り。気忙しいテンポの世話は受け入れてくれない。何せ音もなく身をくねらせ、あつ、何時の間にやらこんな所へ、とその生活の正体を明らかに見せない彼等のこと、常に受け身の世話がポイント日照りの方へ動いたのは暖かさを。ほどけそうなどくろで動く物の気配に、さつと頭をもちあげ後を追うのは食欲を。木枝や岩の隙間に身を休めるのは食欲のあとの脱皮を。というふうに、彼等の動きが、言葉と解せる細やかな「心の聞耳」をもたないような係員では、とうてい爬虫類の繁殖などのぞめない。

【ニシキヘビ初の産卵】

いや、実は、その至難といわれるニシキヘビの産卵があったんです。それは去る四月九日の早朝のこと。あれほど食欲があつて、肥ってきたヘビに当然のこと氣をかけていたものの、まさか産卵するなど夢にも思っていなかった。だが、今になって思えば一夜にニワトリ三〜四羽を連日のように食べていたものが、はたと食欲をなくし、動こうともせず平面な所にとぐろを巻いて、みじんも動かない二週間。やはり産卵の前兆に違いなかったのである。室内プールのすぐ近くの平面な位置に、無数の卵を産み、しかも、おどろいたことに、その全ての卵を大きくとぐろを巻き、まさに抱卵しているじやありませんか。

一、二、三、四、と指折り数えようが、太い胴体に巻きこまれて、その総数は分らないが少なくとも三十個以上あることが確認されたが、その際たいへんなことに気づいた。あの体長四メートル近いとぐろが何んだか、リズムカルにブルブル、ビリビリと動き続けているじやありませんか、

【抱卵するニシキヘビ】

室温27°C、やはりニシキヘビの身体にリズムカルなケイレンが見られる。その数値は毎分四十五回前後である

ことも分った。

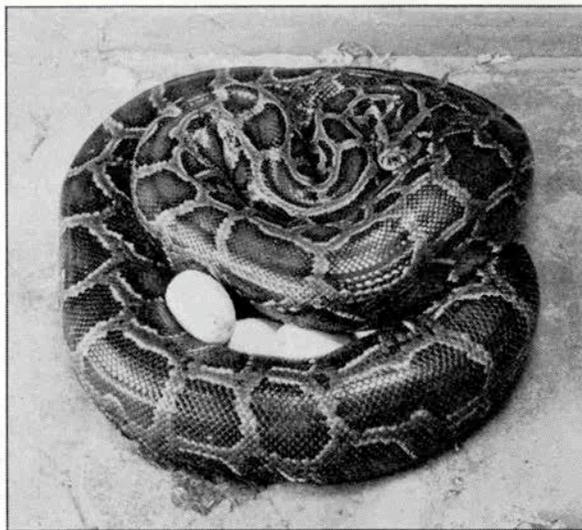
ところでヘビは南極大陸を除く全世界に分布し、その数二、五〇〇〜二、七〇〇種ともいわれるが、大半のヘビは産卵したまま放置し、親の保護もなく自然ふ化を待つばかりだ。

ところが、このほど産卵したニシキヘビは、産卵後かたときも卵を離さないし、動こうともしない。そればかりか、産卵以来、終夜、"ビリビリビリ"と、かなり大きなケイレンを続ける。毎分四十五回、毎時二、七〇〇回終日六、八〇〇回というケイレンは止まることを知らない。いや、ひよっとしたら、と、産卵二週後、卵に腐敗が起こりだしたことから、一部の卵を取り出し検卵。やっばりじやなくて、当然のことオスがいないのであるから無精卵である。さらには次々腐敗しはじめていることから、至仕方なく全卵を取り除くことにしたら、なんと総計四十六卵もあった。

ちなみにその卵の大きさ長径十センチ、短径七センチ、卵重二三〇〜二七〇グラムだった。

【ふ化日数およそ六十日】

いやそれよりも驚いたことに卵をなくした親ヘビの身体は相変わらず抱卵の姿勢をとったまま、その全身ケイレンが続くじやありませんか。一説には、ヘビの抱卵は、卵を害敵から守るためという説。いや、単なる抱卵ではなく、ケイレンさえ与えていることは、僅かであるうともケイレンによる保温を意味するという説。何れが



とぐるを巻いて抱卵するニシキヘビ。でも残念ながら無精卵です。

正しいか定かでないが、卵をとり除いたのちもかなり長い間(約五十日間)その胴体のケイレンのリズムが続いたのである。

さて、卵重二三〇グラムのふ化直後の仔ヘビの体重はといえば、長さ約四十五センチ、体重平均一一〇グラムという報告がある。(上野動物園一九七八年)

【オスとメスの見分け方】

ところで、ヘビの尾は一体どこからなのか、それにオス、メスの見分け方を知りたいなどとの質問が多い。みなさんはどうでしょう。確かに判別しにくいものですが、ヘビの腹面にはくびから胴にかけて腹板とよぶ幅広いうろこが横にならんでいる。その幅広い腹板の最後の一枚の下に総排出腔、つまり肛門があるわけ、それから先端がもちろんのこと尾であり、しっぽなんです。

さらに、その尾の長さがセックスチェックのポイント。オスはさほど変化もななく、かなり太長い尾を持っており、メスでは急に尾のはじまり部で一段と細まり短かいものが多い。

つまり尾が太長いのはオス、急に細くなった尾であり長くないのはメス。という性別のめやすが尾の長さで解るのである。よく肛門部に足の瘍跡があるというがアオダイショウなどで見られるのはこれオスの生殖器なんです。念のために……。

△王子動物園学芸員／写真も▽

決算前の

大蔵ざらえ

品切れの場合はご容赦下さい。

年に一度
6月30日まで



写真の商品は、ごく一例
でございます。高級家具
がお手もとに安く手に入る
チャンスです。キズ物・
セットはずれ等超特価品
山積です。お見逃しなく。

上：江戸指物 杉戸飾欄 60,000を48,000.-
右：ドレッサー(スツール付) 88,000を70,000.-
下：ナラ材 応接三点セット 52,600を41,500.-



7月13日～18日 さんちか広場で
「家具と能面とインテリアフラワー」展を開催いたします。
お揃いでご高覧くださいませ。



慶びの家具

江戸屋

福井

神戸・兵庫永沢町交差点角
電話・〇七八(五七五)三二二〇(代)

神戸の子と健康



●ファミリーで飲んでいます(6月)

ビバ！神戸の水

6月のファミリーは

中西 省伍さん (デザイナー)

洋子夫人

悠花ちゃん

梨花ちゃん

コーベ・ウォーターだとか、灘の宮水とか、昔から神戸の水は美味しいことで定評があったものだ。

ところがボクの家なんか一たん地下の貯水槽へ水を溜め込んで、それからポンプで屋上のタンクへ汲み上げる。そこから各階への給水ということになるので、どうもフレッシュな感覚がない。

「神戸の水は、どこへ行ったの——!!」と、心の中で叫んでいた。

そんな時にこのカルシウムイオン水生成器を知った。水道の蛇口から雑なぐだけでいいし、時間もわずから5分たらずでいいのも、忙しいボクなんかにはすこぶるありがたい。そこで再び美味しい水にめぐりあえた喜び。

「カムバック、コーベウォーター。ビバ!!」

●活性カルシウムイオン水

命の水

毎月5杯書

ナチュラルミネラルアサヒ



活性カルシウムイオン水生成器は水道水を急速に電解処理して活性カルシウムイオン水(アルカリ水)と、アストリンゼン液(酸性水)を同時につくり出します。

そのイオン水は、消化不良、慢性下痢、胃腸内異状発酵、制酸作用にも有効で、酸性に傾きがちな体液を理想的な弱アルカリ性に保つ働きをします。この「ナチュラルミネラルアサヒ」の特色は、①旭硝子が開発した特殊電極②素焼は最高級③便利な連続取水機構④シンプルでデザイン⑤生成時間はわずか5分⑥徹底した安全設計⑦付属品も万全です。

▲標準価格59,500円
割賦販売(10カ月)もある

総発売元・技術指導

旭硝子株式会社

本社 千100 東京都千代田区丸の内2-1-2
(千代田ビル) 特品営業部 ☎(218) 5574
代理店

株式会社

コーベ

〒651 箕合区磯辺通1丁目1ノ20
078(251)3531(代)
健康機器販売部 251-3593・4

神戸の集いから

★神戸とゾーリンゲンに

歌による交友の橋が

ドイツのゾーリンゲンの
ブッバーホフ男声合唱団一
行84名とその家族が来神。

その歓迎交換会が神戸中央
合唱団の主催で、4月27日
(木)午後6時より農業会
館11Fで開かれた。

兵庫県企画部長の水川金
苗氏、ブッバーホフ合唱団
長ベック氏、神戸市教育委
員長の安好匠氏、ゾーリン
ゲン市長らの挨拶が続いた
あと、女性は着姿姿の神戸
中央合唱団とブッバーホフ
合唱団がそれぞれ歌を交
換。ドイツと日本の一層の
交流を願って両合唱団の代
表による兄弟合唱団提携式
両指揮者による鏡割、ドイ
ツ領事の音頭で全員升で乾



固い握手をかわすベック氏(左)と藤原氏(右)

杯。「来日以來、日本食だ
ったのでドイツメニユーが

嬉しい」と団員の一人。集
まれば自然と歌声が流れ、
約350名が出席した、神
戸らしいインターナシヨナ
ルなパーティだった。

★味覚から本格的な

スペインムード

フラメンコギターの調べ
にのせて、スペイン料理を
味わい、談笑のひとときを
—という「スペイン料理を
食べる会」が4月19日午後
6時よりエル・ヴィノで開



日西協会員が集まってスペインの夜

かれた。春、夏、冬と年3
回で12種類ほどの代表的な
料理を賞味し、調理方法も
習う集い。神戸日西協会の
副会長、橋崎四郎氏の挨拶、
ポリビア総領事、セレス氏
の乾杯で開会、神戸外大ス
ペイン語科の一色忠良教授
による「最近のスペイン事
情」と題した講演のあと、
奥田シエフが料理の説明。
砂野仁会長、戸谷副知事、

大橋良三、岡澤薫郎、田村
亨、松本尚女、森本泰好氏ら
多彩な顔ぶれで、向田エル
ヴィノオーナーのギターが
雰囲気盛り立てていた。

★小西保文金山賞受賞

祝賀パーティ開く

金山賞を受賞した小西保
文氏(二紀会委員)の受賞
祝賀パーティが、4月27日
(木)午後6時から、生田神
社会館で賑やかに開催され



中西、鴨居(居の中)両画伯に励まされ

た。このパーティにはもう

一つのタイトルがあった。

「小西保文をヨーロッパへ
送る会」というもので小西
保文氏が渡欧するというの
で、友人知人はそろってあ
わてふためいている次第。

いま、皆んな海外には気軽
にほいほい出掛けている連
中ばかりだが、小西さんが
渡欧するとなると一体どう
なるだろう、と大心配、物
々しいタイトルがついたパ
ーティになった。

激励と送別を兼ねてのパ
ーティを二紀会総出演で頑

張り、果ては無事生還を祈
って野木良郎神主のお被い
を受けるなど大変。しかし、
これで安心して大韓航空で
行けそうだ。

★自由な発想が楽しい

ユニークな生け花展

いけ花インターナシヨナ
ル神戸支部(ジャンヤセック・
マウリン会長)が今年も第
5回目の展示会を4月26日
より3日間相楽園会館で開
いた。神戸在住の外人婦人
とお花の心を通じて理解を
深め仲良くやっというとい
うもので神戸支部は12ヶ
国、65名の団体。アドヴァ
ニマサコ、池坊専永、成瀬
紅梅、小原豊雲氏らが招待
出版者として作品を展示。
今回のテーマは「リズム」。

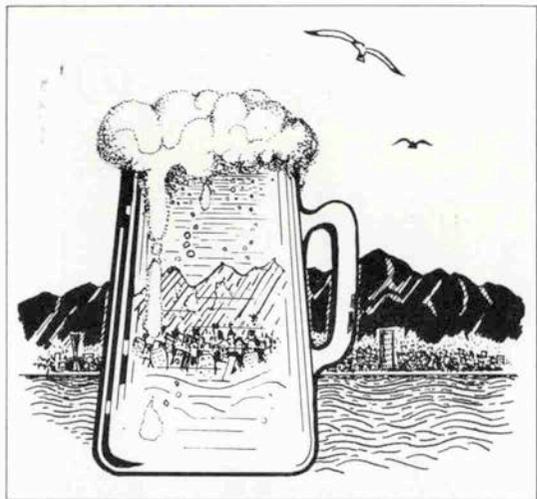
各々が自由な発想で個性



今回の進行役の野田さんとミ
ランダさん、隣はお二人の共
同作品。

的な作品を展示。花の組み
合わせ、生け方などとても
ユニークで興味深い。プロ
グラムの進行をした野田さ
んは「会のこれからの活動
に一つのリズムができれば
いいのですが……」と抱負
を語った。これからの楽し
みだ。

爽やかに神戸の夏を飲みほそう!



NP ニューポートホテル

三宮フラワーロード

☎231-4171

今年はホテルの5階にビヤールームを特設しました。これで天候が悪くてもOK。

- カラオケ歌謡ステージを常設しました。ご自由に参加して自慢ののどを披露して下さい。
 - 大ジョッキ550、中ジョッキ300。ホテルのステキな雰囲気の中で飲むにはお手頃。生ビールミニ樽(7ℓ入)は4,900円。
 - ビヤーパーティもご予算に応じて承ります。ぜひご利用下さい。
- 6月10日～8月31日 5:00P.M.～8:30P.M.



オリエンタルホテル

お問い合わせ、予約申込は☎331-8111

ホテル料理を大きくエンジョイ

歌のうたえるビヤガーデン

- 大丸神戸店屋上(毎週月曜日のど自慢大会)
9月5日まで。5:00P.M.～9:00P.M.
(5月、6月、8月中旬以降は8:30P.M.まで)
- 歌のうたえるビヤガーデン
- 神戸新聞会館屋上(魅惑のダンスショウ・毎週金曜日のど自慢大会)
8月31日まで。5:00P.M.～9:00P.M.
- オリエンタルホテル3階屋上庭園(ロス・ヒターノス フラメンコショウ・魅惑のダンスショウ)
8月25日まで。5:00P.M.～9:00P.M.
(5月、6月は8:30P.M.まで)

夏です。ビールのうまい季節です。



さんプラザ屋上ビヤ・ガーデン
21-1-11-

ビールの老舗が爽やかな夏をプレゼント——
心地よい涼風を受けてジョッキで乾杯！ 神
戸ずい一の夜景が目を楽しませてくれる。樽
を囲んでのビヤパーティや、女性同士で気軽
に飲む姿もニュー・トーキョーならではの。専属
バンドが今宵もムードを盛りあげます。
期間は9月上旬まで。5:00P.M.～9:30P.M.
期間中無休



スカイサントリー

三宮・交通センタービル

☎391-3705

国鉄、阪急、阪神各三宮駅と直結しているので勤め帰りや待ち合わせに便利です。何よりも緑が豊富なので、静かな雰囲気の中で自然が満喫できる、いわば都心のオアシス。料理は9階のレストランから直送されるのでその味には定評があります。また、雨の日には9階のパブをご利用下さい。生ビールと料理を楽しみながら夏の宵を心ゆくまでお過ごし下さい。期間は9月10日まで。5:00P.M.～9:00P.M. (6/16～8/13は9:30P.M.まで)

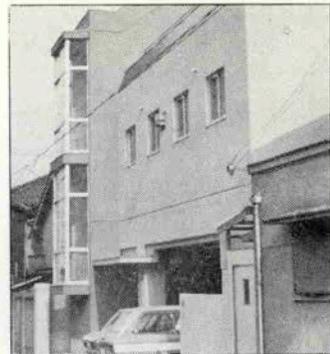
□神戸を福祉の町に△54▽

親の力で生れた

六甲共同作業所

橋本 明

△社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽



国鉄六甲道駅のすぐ南、西外科医院の東隣りに「神樹の会 六甲作業所」が誕生したのは昨年八月一日だった。

神樹の会というのは、肢体不自由児の養護学校である神戸市立友生養護学校のPTAの母親教室が母体となって生まれた会で、昭和四十四年頃から養護学校を卒業した子どもたちの社会的な自立を目ざし、具体的な活動を始めたが、「就職ができなくても、わが子にはこの程度の作業ならできるはず、たとえ狭い場所でも卒業後相寄りあって軽作業をする傍ら、ともに励まし合い、語り合える交流の場ができれば、子どもたちの将来の生きがいのある人生が未来の可能性に向けてどれだけ大きく開けるのではなからうか……（パンフレットより）」と、まづ親たちの手でこのような作業所の建設をめざして運動が始められるようになった。

神樹というのは神戸市立友生養護学校の校庭の真中にそびえる大樹の名前で、卒業生や父兄にとっては忘れられない思い出の木である。この神樹の会は昭和四十七年に肢体不自由児成長の記録「センチセブク歩きたい」を出版し一万二千冊を売り、秋には作業所建設をめざしてさんちか広場で第一回めのチャリティーバザーを開催、その後毎年父兄が自主的にバザーを実施し、建設資金を積み立てていった。昨年六月に完成した父兄の汗と涙の結

晶である六甲作業所を訪ねると、二〇数人の子どもたちと母親が一生懸命にパチンコの景品の包装に取りくんでいた。忙しい時間の合い間をぬって脳外科のお医者さんでもある小久保惣所長さんにお話をうかがった。作業所の職員は一人だけで、運営はほとんど父兄の無報酬の奉仕によって支えられている。

「この作業所ができて一番喜んだのはここに来ている子どもたちなんです。採算は合わなくても子どもたちに働く喜びを与えたくってね……」とはいうもののオープンして九カ月になるが、まだ一度も赤字になったことはない。バザー収益金の中からシュリンク包装用の機械を一千万円近くを投じて購入したが、当初は月二〇万個の注文を受けるはずだった景品の包装が、不況のせいで月五万個ぐらいいしからない。大幅に予想がはずれてしまったので高価な機械も今は操業停止中。機械を使えば作業は二、三日で終わってしまうので、わざわざ手作業でコツコツと進めている。能率よりも、毎日ここへ通ってきて顔を合わせ、ひざを交えながら話合う時間をつくることの方がもっとも大切なことなのだ。

作業は午前九時半から午後三時半までで一時間の昼休みがある。日給は子ども一人七〇〇円で、付き添いの母親にはでない。

「通勤のための電車賃がここの日給よりも高い人もある

んです。作業の利益は全員で一日五〇〇円なんて時もあります」と小久保さんは苦笑する。他に編物や写植も考えているがまだ軌道にはのっていない。年間の予算は約六〇〇万円で、バザーの収益金から運用している。

神樹の会のめざましい地道な活動に対して、昨年は井植文化賞が贈られ十二月にNHK教育テレビの「福祉の時代」で全国で紹介されて訪問者も多くなった。また今年には神戸市からも年間八二五、〇〇〇円の補助金もついた。一応作業所も完成して、今後の目標は？とたずねると「機械力を駆使して生産性の高いものを作り、一般の人を雇って仕事をひろげていきたい。私たちが目指す目標はオーストラリアのセントラル・インダストリーのような福祉工場なんです。身体障害者雇用促進法は身障者の雇用を義務つけていますが、それは軽度の人を対象としているんですね。ここにくるような重度の子どもたちは一般の企業で働くことはなかなか難しいので、こういう作業所は必要なんです。ただ作業所をつくっても自宅

から通勤できない人もいるので、その辺の問題はこれから考えていなくては。ここにもお母さんが付き添ってられています。が、母親の力はたいしたものですよ。養護学校を卒業しても子どもたちはなかなか就職や結婚も難しく、明るい未来を夢みることも難しい。「卒業式の時の母の涙は普通の学校の母の涙とはちがう暗たんたるものなんです。その涙が母親を強くするんです。世間に甘えとったらアカン、私たちの力でやらなアカン、とね」

作業所で子どもたちといっしょに黙々と働くお母さんたちのどこにそんな力がひそんでいるのか不思議だが、障害を背負った子どもたちの未来を少しづつ切り開いていくのはいつの世のどこの世界でも母の汗と涙にちがいない。今、日本の各地で少しづつ生まれつつある同じような作業所が子どもたちやハンディーを負った人たちに生きる自信と勇気を与えるような道を開いてほしいと思う。



上・母と子がいっしょになって作業に汗を流す。
中・タバコの景品の包装。受注が減って困っています。
下・高価な機械も不況のため操業停止なのは惜しい。

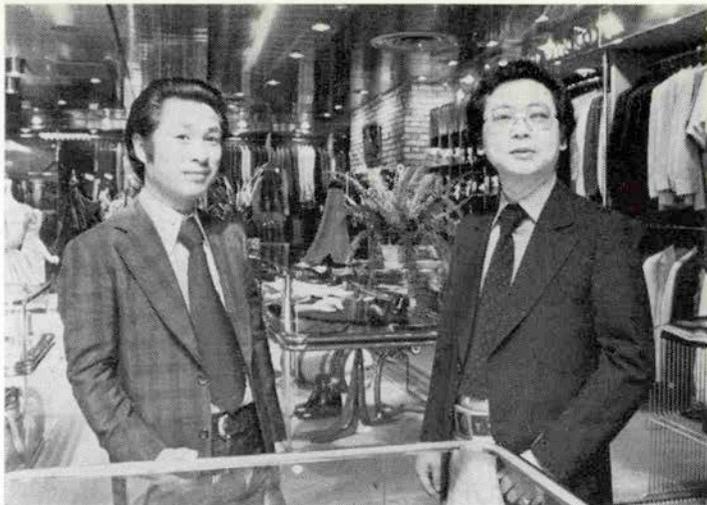
神戸のブティックとオーナー (3) エスターニュートン&スマルト

いい物を見る目に応えます

畑田 浩作(エスターニュートン
センタープラザ店長) 馬場 篤(スマルト店長)

婦人服と紳士服が一つのフロアーにあるのは、神戸では珍しい。ガラスに仕切られたセンタープラザ西館のエスターニュートンとスマルト。若々しくモダンな空間でそれぞれの店長にインタビュー。

神戸は紳士服のオーダーの店もプレタの店も多く、紳士服にはかなりうるさいようですが、お客さんの



畑田さん(左)と馬場さん

反応はどうですか。

畑田「トアロードのエスターニュートンに夫婦連れで買い物にいらっしゃって、『僕のものはないんか?』と旦那様がよくおっしゃってましたが、ここでは御夫婦でお買い物をしていただけますからね、喜んでいただいています」

「スマルト」が神戸に紹介されるのは初めてです。馬場「赤坂サンローゼ、銀座につぐ直営店で、日本で三番目です。日本に入ってからまだ三年目です。フランススコ・スマルトというのはイタリア人のデザイナーなんです、十才の時からこういう仕事をしていたら、物凄いい人なんです。現代のように時代がプレタ指向になってくると、プレタでテラーードスーツのからつとしたものが紳士服では必要になってくるんですね」

畑田「仕立て屋さんでオーダーするってことは体に合った着やすい服を作るためでしょ。そういう点もスマルトの製品では全部カバーできるんです。衿ぐりや袖つけのを合わせましてね。だから寸法もびつたりで着ている人の動きがきれいに出るわけです。今の日本の一般の服は一見よく合ってるんですが何故かシックさが感じられませんか。スマルトはある程度デザインを重んじてますから、着やすいシックでもあるわけです」

「スマルトの特徴をお伺いしたいのですが。」

馬場「今、随分沢山のブランドが輸入されていますが、一つのブランドでこれだけ揃うのはスマルトだけじゃないですか。スーツ、コートという着る物から靴、鞆、傘



モダンで明るいセンタープラザ2F エスタニュートンとフランセスコ・スマルトの店内

ソックスまであるんですから。スーツもスポーティなものからフォーマルなものまで」

—— エスタニュートンセンタープラザ店の特徴はどういうところでしょう。トアロードの本店と違ってブレタが置いてあって若々しいですが。

畑田「本店にもブレタは置いていますが若い人たちには入りにくいのかな、そこでセンタープラザでは若い人向きのブレタ中心に展開しているこうとしています。まざレ・コパン。イタリアのブランドで神戸の街にびった

りだと思えますね。イタリアらしい開放的な感覚です。それからラウラ・ヴィアジョッティ。ラウラのフルコレクションはここが日本で初めてでしょうね。素材に凝る人です。夏はコットン、麻、冬はウール・カシミアやフラーノと天然繊維しか使っていないんです。神戸の方は素材にとても気を使われるでしょ、だから受けると思いませんね。ウインドウにラウラのロングをディスプレイしますと覗いてみようかとみんな思ってたさる。シンプルなデザインですし、素材からラウラ自身が取り組んでいまして値段も比較的安いんです」

—— これからはどういう展開をしていかれるのですか。
畑田「コーディネートできる物を置いていきます。派手なのじゃなくってシックなものをね。それからイタリアやフランスのデザイナーで日本ではあまり知られていない人のをどんどん紹介していきたいですね。たとえばこの秋からタン・ジュッセルイを入れます。ペトナム人のデザイナーで、若い人には人気のあるものなんです」

馬場「スマルトの直営店は関西ではここが初めてなわけですが、関西は東京に比べると派手ですね。スマルトの製品は四十年代五十代の方向きなんですけれど、今この年齢層の方たちは派手でしよう。お客様の中には明るい色のシャツやメタリックなボタンのジャケット等を望まれる方が多い。スマルトはグレー、ベージュ、ブルーが中心なんです。だからそれを考えて派手目なものを入れるようにします」

—— 最後に神戸のファッションについて。

畑田「とっぴな物は絶対受け入れてくれないうですけどいわゆる『いい物』を見る目が全国的にもうるさいですね。そしてコーディネートがうまい。本当のお洒落です。だからコーディネートできるいい物をどんどん見つけていって欲しいですね」

馬場「ただ、小さな街のせいかちょっと保守的なところがあるんですね。それがとっぴな物を拒んで、いい物を選ぶ目になっているんでしょう」